

特別な支援を必要とする子供への就学前から学齢期、社会参加までの切れ目ない支援体制整備

目的

- 教育・福祉・医療・労働分野等の関係部局や関係機関が連携して支援する体制・仕組みの整備
- 各発達段階を通じ、円滑な情報の共有、引継ぎがなされるよう、就学前段階から就労段階にわたり、各学校等で個別の支援情報に関する「個別の教育支援計画」等を作成し、就学、進級、進学、就労の際に、記載された情報の取扱いについて十分配慮した上で、その内容が適切に引き継がれる仕組みの整備



成果

①得られた成果

- ・国立特別支援教育総合研究所作成の「インクル Kompas」を参考にした取組の重点整理のためのシートを作成し市町村に提供、集約、全市町村への情報提供
→事業目的の明確化により市町村連携協議会等によるニーズに基づく取組へ
- ・研修モデルの構築による市町村内の情報共有をととした連携の推進
→特に福祉との連携の必要性、個別の教育支援計画活用の意義理解
- ・隠岐特別支援推進地域連携協議会における協議と取組
→学校間、関係機関を「つなぐ」ための個別の教育支援計画の活用推進

②成果を踏まえた今後の取組

各市町村による支援体制整備の充実とその周知を図るための相談窓口リーフレット作成

事業内容

①しまね特別支援連携協議会

- ・県内の支援体制整備上の課題、方向性、取組の好事例等についての、県の関係部局、関係機関、各市町村連携協議会等の代表者による情報共有及び協議（年1回・オンライン会議）
- ・県内5圏域における、就学期、学齢期、就労・進学期に関する研修モデルの構築による、教育、福祉、労働等の関係者間の連携の推進（年1回）
- ・県による各市町村連携協議会等の取組内容の集約と全市町村への情報提供
- ・各自治体の支援体制整備の充実に向けた、県による教員の専門性向上研修の開催
- ・県内の相談窓口を記載したリーフレットの作成
- ・「個別の教育支援計画」啓発のための保護者向けリーフレットの作成

②隠岐特別支援推進地域連携協議会

- ・離島である隠岐管内における特別支援を推進する連携協議会の開催、及び各町村相談支援チーム等による相談機能等体制の整備
- ・就学前から就労期を対象とした教職員、支援者、行政、保護者向け研修の実施
- ・個別の教育支援計画の作成・活用・引継ぎの推進
- ・各町村独自のニーズに基づく体制整備状況についての情報共有

